様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施　策	①伝統的な技術・技法の継承と経営基盤の強化
			施策の小項目名	○伝統的な技術・技法の継承と高度化
主な取組	県工芸士の認定		対応する成果指標	従事者一人あたりの工芸品生産額
施策の方向	・沖縄県工芸士認定制度の活用や人材育成を通して、伝統的な技術・技法の継承と高度化に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
高度の技術・技法を保持し、かつ後継者の育成等に尽力している者を知事が「沖縄県工芸士」として認定することで、励みを与えるとともに社会的評価を高め、もって工芸産業の振興を図る。	県	優れた技術・技法を保持する工芸産業従事者を「沖縄県工芸士」として認定		
		県工芸士認定者数（累計）		
		5人	5人（10人）	5人（15人）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	工芸人材育成事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	276	348

予算事業名	工芸人材育成事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	630

令和6年度活動内容

産地組合、市町村から７名の推薦があり、認定委員会による審査の結果、７名を沖縄県工芸士として認定した。

令和7年度活動計画

産地組合、市町村へ推薦を募り、目安として5名程度の認定を見込んでいる。

活動指標名	県工芸士認定者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		工芸産地組合または市町村からの推薦を受けた工芸従事者７名について、外部有識者等で構成される認定委員会による書類審査、作品審査の上、沖縄県工芸士として７名を認定した。
	12人	4人	7人	５人（15人）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度は、工芸産地組合と市町村から７名の推薦があり、目標値５名を上回る７名を工芸士として認定したことから「順調」であると判断した。高度の伝統的技術および技法を有する者を工芸士として認定することにより、伝統工芸品を製造する者に励みを与えるとともに社会的評価の向上につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
市町村等を対象に実施する工芸産業振興施策説明会において、候補者の調査、把握について協力を呼びかけるなど、市町村および産地組合と連携強化を図り、推薦にふさわしい工芸従事者の掘り起こしを行う。	工芸産業振興施策説明会において、市町村および工芸産地組合に対して候補者の調査、把握について協力依頼をした結果、実績がなかった知花花織事業協同組合から推薦があるなど、新たな被推薦者の掘り起こしができた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和６年度は、被推薦者が７名と前年度より２名増加したが、推薦された分野が３分野のみと偏っていたので、今後も産地組合と連携を図り、候補者を掘り起こす必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	事業協同組合等を対象に実施する工芸産業振興施策説明会において、候補者の調査、把握について協力を呼びかけるなど、産地組合や市町村と連携強化を図り、推薦にふさわしい工芸従事者の掘り起こしを行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施　策	①伝統的な技術・技法の継承と経営基盤の強化
			施策の小項目名	○伝統的な技術・技法の継承と高度化
主な取組	工芸技術者の育成		対応する成果指標	従事者一人あたりの工芸品生産額
施策の方向	・沖縄県工芸士認定制度の活用や人材育成を通して、伝統的な技術・技法の継承と高度化に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
工芸技術者の人材育成を図るため、おきなわ工芸の杜の設備・機器を活用し、基礎的・専門的な技術研修（織物、紅型、漆芸、木工）を行う。	県	工芸振興センターにおける基礎的・専門的な技術研修		
		工芸技術研修修了者数（累計）		
		８人	８人（16人）	８人（24人）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	http:www.oki-kougeicenter.info

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	高度工芸技術者養成事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	26,669	30,012

予算事業名	高度工芸技術者養成事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	30,324

令和6年度活動内容

令和６年４月からの１年を通して、織物２名、紅型３名、漆芸４名、木工４名の計13名に研修を実施した。

令和7年度活動計画

令和7年４月からの１年を通して、織物４名、紅型4名、漆芸４名、木工4名の計16名に研修を実施する。

活動指標名	工芸技術研修修了者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和６年４月～令和7年3月までの１年間研修を実施し、織物２名、紅型３名、漆芸４名、木工４名の計13名が修了した。
	12人	13人	13人	８人（24人）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値「８名」に対し、実績値は「１３名」と目標を達成しており、「順調」と判定した。

（2）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
随時受け入れ研修の実施に対応するための指導方法について、委託業者と当該の課題解決について協議し方針を定めていく。	研修生の個別技術課題に対応する講師の指導力配分および技術職員による情報提供をした。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	今年度から新設した研修生の随時の受け入れについて、応募数が想定よりもやや少ない結果となった（４名→１名）

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	次年度は広報を強化し、受け入れ人数の増を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施　策	①伝統的な技術・技法の継承と経営基盤の強化
			施策の小項目名	○工芸事業者等の経営基盤の強化
主な取組	技術講習等の実施		対応する成果指標	従事者一人あたりの工芸品生産額
施策の方向	・原材料の安定確保、製造技術の向上、工程の見直し等により安定した製品供給体制の確立を図り、工芸事業者等の経営基盤の強化に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
伝統工芸品に使用される原材料の持続的供給ができるように枯渇状況に合わせた施策を実施するため、ハンズオン支援等により、各産地組合の原材料確保計画策定に向けた支援をするとともに、技術講習等を実施する。	県,市町村,工芸産地組合等	原材料の安定確保に向けた品質維持及び効率的な活用に関する技術講習等の実施		
		技術講習会の実施回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	工芸原材料供給強化・支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	5,826	5,535

予算事業名	工芸原材料供給強化・支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	7,846

令和6年度活動内容

R5調査にて出土した土の試験研究を行い、化粧土の評価結果に関する講習会を組合へ行うとともに、組合の原材料確保に向けた計画策定支援等を行う。

令和7年度活動計画

産地組合の原材料を確保する計画策定に向けた支援するとともに、技術講習等を行う。

活動指標名	技術講習会の実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		八重山地区の産地組合へ原材料確保に向け現状把握等支援を実施するとともに、経糸技術講習会２回開催した。併せて、陶器の組合に対して、R5調査にて出土した土の試験研究結果などの報告会を開催した。
	2回	2回	2回	１回（３回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

八重山地区の産地組合へ原材料確保に向けた現状把握等支援を実施するとともに、経糸技術講習会を２回開催し延べ40名の方に受講いただいたことから順調と判断した。原材料の課題整理等につながるとともに、技術向上につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　R5調査にて出土した土の試験研究を行い、化粧土の評価結果に関する講習会を組合へ行うとともに、産地組合の原材料確保に向け、原材料確保計画を策定する産地組合を支援する。	○　化粧土の評価結果に関する講習会を組合へ行うとともに、産地組合の原材料確保に向け、原材料確保計画を策定する産地組合を支援した。引き続き、産地組合の原材料確保に向けた計画策定支援するとともに、技術講習等を行う。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	原材料確保は栽培など課題改善に時間を要するため、継続的な取組が必要である。そのため、産地組合の原材料確保に向け、原材料確保計画等の策定に向けた支援および技術講習等を引き続き実施する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	産地組合の原材料確保のため、原材料確保計画等の策定に向けた支援および技術講習等を引き続き実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施　策	①伝統的な技術・技法の継承と経営基盤の強化
			施策の小項目名	○工芸事業者等の経営基盤の強化
主な取組	製造技術の向上		対応する成果指標	従事者一人あたりの工芸品生産額
施策の方向	・原材料の安定確保、製造技術の向上、工程の見直し等により安定した製品供給体制の確立を図り、工芸事業者等の経営基盤の強化に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
織物および紅型の品質の維持･改善･向上を目的に、沖縄県伝統工芸産業振興条例の規定に基づき、検査対象織物について検査を実施する。	県	技術向上及び品質の維持を目的とした織物検査事業の実施		
		検査所配置数（累計）		
		10箇所	10箇所（20箇所）	10箇所（30箇所）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	織物検査事業費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	20,923	24,546

予算事業名	織物検査事業費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	26,904

令和6年度活動内容

県内10検査所に11名の検査員を配置し、全体で3,236件申請があり染織物検査を実施した。

令和7年度活動計画

引き続き各検査所での染織物検査を実施する。

活動指標名	検査所配置数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内10ヵ所（那覇市2ヵ所、宮古島市、石垣市、沖縄市、大宜味村、読谷村、南風原町、久米島町、与那国町）に「沖縄県伝統工芸製品検査員」を11名配置し、染織物工芸品の検査を実施した。
	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所（30箇所）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

染織検査所の設置は、目標値10件に対し実績10件だったことから、「順調」と判定した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
各産地組合への事業説明により、事業の重要性および必要性への理解を得た上で、検査員の推薦を依頼し、検査員の確保および確実な事業実施につなげる。	6月に施策説明会を各圏域で4回開催し、各産地組合に対して検査所や検査員の役割、各検査所の実績等を説明したことにより事業の重要性および必要性への理解を図り、検査員の確保につなげた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	円滑な検査業務を行うため、検査員との連絡を密にし、課題があれば、当該産地組合とも課題を共有し解決に向け対応するなど工芸産地組合との連携し、検査員の早期退職を防ぐ。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	各産地組合への事業説明や日々の情報交換により、検査業務の重要性および必要性への理解を得た上で、検査員の推薦を依頼し、検査員の確保および確実な検査実施につなげる。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施　策	①伝統的な技術・技法の継承と経営基盤の強化
			施策の小項目名	○おきなわ工芸の杜を活用した伝統工芸の啓発普及と消費の拡大
主な取組	おきなわ工芸の杜の活用		対応する成果指標	従事者一人あたりの工芸品生産額
施策の方向	・おきなわ工芸の杜を活用した伝統工芸の体験学習や情報発信等により、消費者と作り手との交流を広げ、伝統工芸の啓発普及と消費の拡大を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
おきなわ工芸の杜を活用し、消費者と作り手との交流を広げ、伝統工芸の啓発普及と消費拡大を促進するため、貸し工房、共同工房、展示室、セミナー開催等、利活用の推進を図る。	県,指定管理者	おきなわ工芸の杜における貸し工房、共同工房、展示室、セミナー等の活用		
		施設の総利用者数（累計）		
		36,000人	36,000人（72,000人）	36,000人（108,000人）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	おきなわ工芸の杜指定管理費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	74,873	69,257

予算事業名	おきなわ工芸の杜指定管理費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	66,959

令和6年度活動内容

セミナー等にて入居者の工房運営や販路開拓などの支援をした。また、施設の展示管理を行うとともに、沖縄空手会館等と連携した取組を実施した。

令和7年度活動計画

伝統工芸品の展示やHPおよびSNS等での情報発信、セミナーやワークショップの実施のほか、施設入居者の段階に応じた事業支援等を行う。

活動指標名	施設の総利用者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		施設入居者向けの支援として、ハンズオン支援や専門家を招いたセミナーを3回実施。豊見城城址公園エリア一帯での周知・魅力発信の機会として、沖縄空手会館と共同イベントを開催。
	33,296人	65,671人	97,419人	36,000人 （108,000人）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「施設の総利用者数」の目標値「36,000人」に対し「97,419人」と目標値を達成し、達成割合が100%であることから順調と判断した。
各種イベントの実施やセミナー、ワークショップを開催することで施設の認知度を高め、R5年度よりも多く来館者の集客を図ることができた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○SNSにおけるイベント情報の投稿をはじめとした情報発信に加え、近隣施設の空手会館や小学校等と連携を図り、広報を強化する。	○「工芸ものづくり＆空手体験2024」を沖縄空手会館と共同開催。各施設の特色を活かしたイベントを実施することで、豊見城城址公園エリア一帯の周知・魅力発信の機会とした。 ○県内外の小・中学校、高等学校、大学等の施設見学を受け入れ、指定管理者にて施設ガイドを行った。また、県内中学校の職場体験受け入れや、工芸振興センターと連携して小学校の出前授業を実施した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	当該施設の認知向上のため、HPおよびSNSにて施設のイベント情報などの周知に加え、施設の取組や実施事業についても広報を強化する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	SNSにおけるイベント情報の投稿をはじめとした情報発信に加え、空手会館など近隣施設と連携を図り、引き続き、広報を強化する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施　策	①伝統的な技術・技法の継承と経営基盤の強化
			施策の小項目名	○おきなわ工芸の杜を活用した伝統工芸の啓発普及と消費の拡大
主な取組	作り手と消費者との交流促進		対応する成果指標	従事者一人あたりの工芸品生産額
施策の方向	・おきなわ工芸の杜を活用した伝統工芸の体験学習や情報発信等により、消費者と作り手との交流を広げ、伝統工芸の啓発普及と消費の拡大を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
おきなわ工芸の杜を活用し、消費者と作り手との交流を広げ、伝統工芸の啓発普及と消費拡大を促進するため、イベントやワークショップを開催する。	県,指定管理者	おきなわ工芸の杜の貸し工房及び体験工房における消費者との交流		
		入居事業所数（累計）		
		10事業所	10事業所（20事業所）	10事業所（30事業所）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	おきなわ工芸の杜指定管理費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	74,873	69,257

予算事業名	おきなわ工芸の杜指定管理費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	66,959

令和6年度活動内容

貸し工房の入居者募集と選定をした。また、イベント事業の誘致や自主事業イベントの実施による交流を促進した。

令和7年度活動計画

貸し工房の入居者募集と選定をする。また、イベント事業の誘致や自主事業イベントの実施による交流を予定。

活動指標名	入居事業所数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		入居事業者の募集および選定をした。 イベントの誘致を実施するとともに、自主事業イベントを２回開催した。
	16事業所	19事業所	22事業所	10事業所 (30事業所)	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ホームページやＳＮＳでの案内に加え、工芸従事者や関係事業者向けに入居者募集案内を行い、目標値以上の入居事業所数となったことから「順調」であると判断した。おきなわ工芸の杜における消費者と作り手の交流促進および工芸事業者に対する支援につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○引き続きホームページ等で施設案内を行うとともに、業界団体等へ積極的に周知をする。	○ホームページやＳＮＳでの案内に加え、工芸従事者や関係事業者向けに入居者募集案内を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	貸し工房については、入居事業所数増加傾向にあるが、インキュベート施設としてのＰＲは継続して行う必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、貸し工房の入居者募集の情報などの施設案内をホームページ等で行うとともに、業界団体等へ周知をする。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施　策	②伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興
			施策の小項目名	○新たな工芸品の開発及び二次加工製品製造の支援
主な取組	工芸研究事業		対応する成果指標	工芸品生産額
施策の方向	・産地や試験研究機関等との有機的な連携を図り、工芸の要素・資源や技術・技法を活用した新たな工芸品の開発及び二次加工製品の製造の支援に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
市場ニーズを踏まえた新たな商品開発等を図るため、工芸技術に関する試験研究を行い、工芸業界にその成果を還元する。	県	工芸技術の試験研究や製品開発の実施		
		工芸技術の試験研究・開発実施件数（累計）		
		2件	2件（4件）	2件（6件）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	http:www.oki-kougeicenter.info

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	工芸研究費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	897	929

予算事業名	工芸研究費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	1,242

令和6年度活動内容

染織・木漆工に関する試験研究、開発研究業務を3テーマ（染織分野、木漆工分野等）実施し、工芸業界関係者へ周知した。

令和7年度活動計画

染織・木漆工に関する試験研究、開発研究業務を３テーマ（染織分野、木漆工分野等）実施し、工芸業界関係者へ周知する。

活動指標名	工芸技術の試験研究・開発実施件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		染織・木漆工に関する試験研究、開発研究業務を３テーマ（染織分野、木漆工分野等）実施し、工芸業界関係者へ周知した。
	2件	2件	3件	２件（６件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

試験研究、開発研究業務を合わせた目標値「２テーマ」に対し、実績値は「３テーマ」と目標を達成しており「順調」と判定した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○業界の課題を踏まえた即効性のある技術研究テーマ設定に向け関係団体等の意見の聴取等を行い検討する。 ○産業まつりや工芸の杜でのイベントなどと連携し、センター展を開催するなど、周知を強化する。	○街路樹の活用や織道具の技術開発等業界の課題に対応した内容を実施した。 ○産業まつり、センター展に加え、ウッディフェア等により周知を図った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化（外部環境の変化）	工芸事業者の抱える課題について、さらに分析し、内容を精査の上実施する必要がある。具体的な実施内容は、工芸原材料に関するものが多く、木材や貝など天然素材の代用材の研究である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	取り組みを継続実施し得られた新しい知見について情報発信をする。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施　策	②伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興
			施策の小項目名	○新たな工芸品の開発及び二次加工製品製造の支援
主な取組	技術支援事業		対応する成果指標	工芸品生産額
施策の方向	・産地や試験研究機関等との有機的な連携を図り、工芸の要素・資源や技術・技法を活用した新たな工芸品の開発及び二次加工製品の製造の支援に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
伝統工芸技術、技法の承継と高度化（工芸産業の振興）を目的に工芸産地組合や工芸事業所（織物、紅型、漆芸、木工芸ほか）を対象とした講習会および技術指導の実施、技術相談を実施する。	県	産地等技術指導の実施		
		工芸技術指導事業所数（累計）		
		100事業所	100事業所（200事業所）	100事業所（300事業所）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	http:www.oki-kougeicenter.info

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	工芸技術指導費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	1,452	1,320

予算事業名	工芸技術指導費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	2,087

令和6年度活動内容

外部講師（県内外在住者）による講習会の実施や専門職員による技術指導をした。

令和7年度活動計画

工芸産地組合および染色漆芸木工芸の従事者に向けた講習会開催を外部講師（県内外在住者）、専門職員による現場指導、技術相談をする。

活動指標名	工芸技術指導事業所数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		工芸産地組合および織物・染色、漆芸、木工等の工芸縫製製品生産者、従事者向けの講習会開催、専門職員による現場指導、技術相談や情報提供をした。
	183事業所	229事業所	328事業所	100事業所 (300事業所)	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

工芸技術指導事業所の目標値「100事業所」に対し、実績値「328事業所」と達成していることから「順調」と判定した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
要望調査の回答をベースに、必要に応じて現地訪問した。また直接要望を聞き取り、現場確認をする等、各産地組合等のニーズに沿った講習会の内容を検討する。	要望のあった技術支援について、丁寧に内容確認し、ラミー糸の染色に関する講習会、タテ絣講習会、染色技術講習会と離島を含む３つの講習会を開催し、多くの工芸事業者が参加した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	産地組合や事業者等に対して要望調査を実施しているが、当該調査では要望を十分に把握できなかったり、確認した内容が不十分だったりする事例がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	産地組合等が求める技術支援の要望を十分に拾い上げるため、調査票の内容見直しを行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施　策	②伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興
			施策の小項目名	○おきなわ工芸の杜における作り手と異業種の交流促進及び国内外への効果的な販路拡大等
主な取組	作り手と異業種の交流促進		対応する成果指標	工芸品生産額
施策の方向	・おきなわ工芸の杜において、作り手と異業種の交流を促進し、新たな市場開拓や商品開発、ビジネスモデルの創出を推進するとともに、消費者の感性に働きかける感性型製品の開発やブランド力の向上、おきなわ工芸の杜やICTを活用した県民や観光客に対する情報発信の強化、国内外への効果的な販路拡大等に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
おきなわ工芸の杜において工芸と異業種との協働を目的とした交流を促すため、セミナーやワークショップを開催する。	県,指定管理者	おきなわ工芸の杜において工芸と異業種との協働を目的とした交流会の実施		
		異業種交流会の実施件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	おきなわ工芸の杜指定管理費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	74,873	69,257

予算事業名	おきなわ工芸の杜指定管理費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	66,959

令和6年度活動内容

入居者、県内事業者、異業種等との交流を目的としたセミナーおよびワークショップを２回開催した。

令和7年度活動計画

入居者、県内事業者、異業種等との交流を目的としたセミナーおよびワークショップを２回開催する。

活動指標名	異業種交流会の実施件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内外の工芸従事者、支援者等のネットワークと入居者との交流を目的としたセミナーおよびワークショップを２回開催した。
	2件	2件	2件	１件（３件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

異業種交流を目的としたセミナーおよびワークショップを２回開催したことから、順調と判断した。工芸とは異なる分野の事業者との交流・連携の機会の創出につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○工芸品のさらなる認知度向上、販路開拓および入居事業者の収益向上を図る為に、交流する異業種の分野については、面談やアンケート等を実施してニーズを把握したうえでセミナーおよびワークショップを開催する。	○入居者および県内工芸関係者と、工芸とは異なる分野の事業者との交流の場を設け、ネットワークづくりを支援するために、「工芸の杜ネットワーク」セミナー・ワークショップを開催した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	工芸とは異なる分野の事業者との交流・連携の機会の創出につながった。事業者としての経営力強化や販路拡大につながる効果的な交流の場となるよう、引き続き取り組む必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	入居事業者の収益向上、販路拡大に向けて、工芸とは異なる分野の事業者との交流・連携の機会の創出を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施　策	②伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興
			施策の小項目名	○おきなわ工芸の杜における作り手と異業種の交流促進及び国内外への効果的な販路拡大等
主な取組	販路拡大		対応する成果指標	工芸品生産額
施策の方向	・おきなわ工芸の杜において、作り手と異業種の交流を促進し、新たな市場開拓や商品開発、ビジネスモデルの創出を推進するとともに、消費者の感性に働きかける感性型製品の開発やブランド力の向上、おきなわ工芸の杜やICTを活用した県民や観光客に対する情報発信の強化、国内外への効果的な販路拡大等に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄の工芸品を一堂に集め展示紹介するほか、即売や実演・体験、産地講演会を行い、工芸品を暮らしの中へ活用する提案を行い消費拡大につなげる。	県,市町村,工芸事業者等	県外等における沖縄工芸フェアの開催		
		沖縄工芸ふれあい広場開催件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄工芸フェア事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	負担	3,000	3,000

予算事業名	沖縄工芸フェア事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	4,000

令和6年度活動内容

東京銀座にて沖縄の工芸品を一堂に集めた展示会を開催した。

令和7年度活動計画

沖縄の工芸品を一堂に集めた展示会を開催する。

活動指標名	沖縄工芸ふれあい広場開催件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		東京銀座にて沖縄の工芸品を一堂に集めた展示会を開催した。
	2件	2件	1件	１件（３件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

東京銀座にて県内工芸品を一堂に集めて展示会を開催したことから、目標値を達成しているため、順調とした。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　産地調整会議、産地報告会等、産地組合との意見交換の場を複数回設けて、催事内容や開催場所等について検討を重ねる。 ○　従来の広報に加え、インターネットやSNSを活用し、既存客と新規来場者の集客に努める。 　また、継続的な取引が見込める商談の機会等を増やす等の新たな取り組みを検討する。	○　産地調整会議を７月に実施、催事内容や開催場所等について検討した。 ○　インターネットやSNSを活用し、新規来客者の集客に努めた。会場イベントについて、沖縄の歴史や各産地を紹介する講演会や三線演奏会等、集客効果が見込めるイベントプログラムを実施した。 ○　継続的な取引が見込める商談の機会を増やす取り組みとして、事業者と工芸品従事者が直接相談できる商談会を工芸展示会と同時開催した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	商談会の実施をより効果的にするため、商談会の実施に加え、各産地組合の商談会を支援する取組（セミナー等）の実施を検討する必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	毎年度、同時期・同場所で開催し、認知度も高まり多くの来場者がある。高まった認知度を活かし、産地組合のさらなる収益につなげるよう、新たな取組を検討する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	展示会および商談会の実施が首都圏での継続的な取引につながるよう、産地組合との意見交換の場を複数回設け、取組方法を検討する。また、効果的な商談会の実施にむけ、産地組合への支援方法も検討する。
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	従来の広報に加え、インターネットやSNSを活用し、既存客と新規来場者の集客に努める。 展示会と併せて、継続的な取引を増やす機会となる商談会を実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施　策	②伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興
			施策の小項目名	○伝統工芸に触れる機会の提供
主な取組	展示会の開催		対応する成果指標	工芸品生産額
施策の方向	・工芸品の認知度向上のため、展示会の開催や文化施設等との連携など、県民をはじめ多くの方々へ伝統工芸に触れる機会を提供し、沖縄工芸の魅力や価値の向上に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄の優れた工芸品を公募し、表彰および展示会を実施することで、工芸品を広く一般に紹介するとともに、生産者の意欲の高揚、技術、デザイン開発力、競争力の向上を図る。	県	作り手の技術向上及び県民への普及啓発		
		工芸公募展の開催件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県工芸公募展		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	2,420	3,500

予算事業名	沖縄県工芸公募展	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	3,500

令和6年度活動内容

作り手の技術向上および県民への普及啓発のため、第46回沖縄県工芸公募展を実施した。

令和7年度活動計画

作り手の技術向上および県民への普及啓発のため、工芸公募展を実施する。

活動指標名	工芸公募展の開催件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		おきなわ工芸の杜にて沖縄県工芸公募展を開催し、作品の応募者数49人、応募点数59点、来場者数は418人となった。
	1件	1件	1件	１件（３件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画の通り、おきなわ工芸の杜にて第46回沖縄県工芸公募展を開催したことから順調と判断した。作品の応募総数59点のうち、16点が入賞および入選し、来場者は418人であった。生産者の意欲の高揚、技術、デザイン開発や、競争力の向上に貢献している。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○作品募集を工芸産地組合や市町村と連携し、作品募集を周知することに加え、工芸従事者に届くようＳＮＳ等での広報方法を検討する。	○作品募集を工芸産地組合や市町村と連携し、作品募集を周知することに加え、工芸従事者に届くようラジオCM、SNS広告等での広報をした。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	来場者数が減少傾向にあることから、生産者の意欲の高揚・技術向上の観点からも、来場者数および作品応募者数の増加に向けて取り組む必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	作品募集を工芸産地組合や市町村と連携し、作品募集を周知することに加え、工芸従事者や来場者に届くようＳＮＳ等での広報方法を引き続き検討する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-エ	伝統工芸の振興	施　策	②伝統工芸を活用した感性に働きかける魅力的なものづくりの振興
			施策の小項目名	○伝統工芸に触れる機会の提供
主な取組	webサイト等による情報発信		対応する成果指標	工芸品生産額
施策の方向	・工芸品の認知度向上のため、展示会の開催や文化施設等との連携など、県民をはじめ多くの方々へ伝統工芸に触れる機会を提供し、沖縄工芸の魅力や価値の向上に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
本県工芸産業振興を図るため、おきなわ工芸の杜Webサイトにおいて工芸品やイベント情報等の発信をする。	県,指定管理者	おきなわ工芸の杜webサイトにおける工芸品やイベント情報等の発信		
		ページ閲覧数（累計）		
		30,000件	30,000件（60,000件）	30,000件（90,000件）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	おきなわ工芸の杜指定管理費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	74,873	69,257

予算事業名	おきなわ工芸の杜指定管理費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	66,959

令和6年度活動内容

「おきなわ工芸の杜公式サイト」をはじめ、工芸従事者向け、観光客向けの各種Webサイトにおいて、工芸品やイベント情報等の発信をした。

令和7年度活動計画

イベントや施設設備等のお知らせ情報を分かりやすく掲載し、施設利用料や入居者募集に関する情報を状況に応じて随時更新する。

活動指標名	ページ閲覧数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		おきなわ工芸の杜で開催されるイベントやセミナー等に関する情報などを定期的に更新し情報を発信した。併せて、体験工房や貸し工房入居者が実施する体験プログラムを掲載するなど、工芸体験の周知を強化した。
	36,000件	76,000件	93,000件	30,000件（90,000件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

HP閲覧数が、目標値を上回っているため順調と判断した。「おきなわ工芸の杜公式サイト」や「おきなわ伝統工芸サポーターズWeb」、観光客向けの「おきなわ工芸ナビ」等、それぞれの目的に沿った情報を効率よく迅速かつ正確に発信することで、来館者の誘客に寄与した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○ＳＮＳアカウントにホームページＵＲＬを連携しているため、ＳＮＳでの情報発信を引き続き強化する。	Instagramを活用した情報発信やイベント時の広報活動等により、フォロワー数や来館者数の増加につながった。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	Instagramを活用した情報発信やイベント時の広報活動等については、利用者がより使いやすいサイトとなるよう工夫する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	SNSを活用した情報発信やイベント時の広報活動等、利用者がより使いやすいサイトとなるよう引き続き強化する。